

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re PATENT APPLICATION of
Inventor(s): TAKAHASHI, Masaru

Appln. No.:	TO BE ASSIGNED
Series Code ↑	↑ Serial No.

Group Art Unit: TO BE ASSIGNED



Filed: March 15, 2001

Examiner: TO BE ASSIGNED

Title: PLAYBACK APPARATUS AND METHOD OF TIMELY
PLAYING BACK A RECORDED PROGRAM

Atty. Dkt. P 279135	T4A0A-00S1170
M#	Client Ref

Date: March 15, 2001

**SUBMISSION OF PRIORITY
DOCUMENT IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF RULE 55**

Hon. Asst Commissioner of Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

Please accept the enclosed certified copy(ies) of the respective foreign application(s) listed below for which benefit under 35 U.S.C. 119/365 has been previously claimed in the subject application and if not is hereby claimed.

<u>Application No.</u>	<u>Country of Origin</u>	<u>Filed</u>
2000-364505	JAPAN	November 30, 2000

Respectfully submitted,

Pillsbury Winthrop LLP
Intellectual Property Group

1100 New York Avenue, NW
Ninth Floor
Washington, DC 20005-3918
Tel: (202) 861-3000
Atty/Sec: gjp/mjb

By Atty: Glenn J. Perry

Reg. No. 28458

Sig: 

Fax: (202) 822-0944
Tel: (202) 861-3070

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J1046 U.S. PTO
09/808365
03/15/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年11月30日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-364505

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

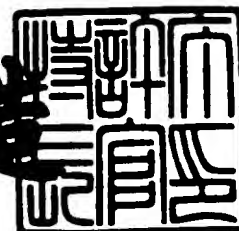
出 願 人
Applicant (s):

株式会社東芝

2000年12月22日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 A000006462

【提出日】 平成12年11月30日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G11B 15/02
H04N 5/76

【発明の名称】 記録再生装置及び記録再生方法

【請求項の数】 20

【発明者】

【住所又は居所】 埼玉県深谷市幡羅町一丁目9番地2号 株式会社東芝深
谷映像工場内

【氏名】 高橋 大

【特許出願人】

【識別番号】 000003078

【氏名又は名称】 株式会社 東芝

【代理人】

【識別番号】 100058479

【弁理士】

【氏名又は名称】 鈴江 武彦

【電話番号】 03-3502-3181

【選任した代理人】

【識別番号】 100084618

【弁理士】

【氏名又は名称】 村松 貞男

【選任した代理人】

【識別番号】 100068814

【弁理士】

【氏名又は名称】 坪井 淳

【選任した代理人】

【識別番号】 100092196

【弁理士】

【氏名又は名称】 橋本 良郎

【選任した代理人】

【識別番号】 100091351

【弁理士】

【氏名又は名称】 河野 哲

【選任した代理人】

【識別番号】 100088683

【弁理士】

【氏名又は名称】 中村 誠

【選任した代理人】

【識別番号】 100070437

【弁理士】

【氏名又は名称】 河井 将次

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011567

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 記録再生装置及び記録再生方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所望の複数のプログラムを記録媒体へ記録し、この複数の記録されるプログラムの再生順序を予め予約する予約手段と、

前記予約手段により予約された再生順序に基づきユーザオリジナルのプログラムガイドを生成する生成手段と、

前記プログラムガイドに基づいた順序で、記録された複数のプログラムを再生させる再生手段と、

を備えたことを特徴とする記録再生装置。

【請求項 2】

前記予約手段により予約された再生順序、及び実行された再生の履歴のうち少なくとも一方の情報に基づき、記録された複数のプログラムの再生順序を自動制御する再生順序制御手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の記録再生装置。

【請求項 3】

モード選択操作に対応して手動再生モード又は自動再生モードを選択する再生モード選択手段と、

再生開始操作に対応して再生開始を指示する再生開始指示手段と、

再生開始時刻の入力操作に対応して再生開始時刻を設定する設定手段と、

前記選択手段により手動再生モードが選択され、前記再生開始指示手段から再生開始が指示されると、前記プログラムガイドに基づいた順序で、記録された複数のプログラムの再生を開始させ、前記選択手段により自動再生モードが選択され、前記設定手段により設定された再生開始時刻になると、前記プログラムガイドに基づいた順序で、記録された複数のプログラムの再生を開始させる手動自動再生制御手段と、

を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の記録再生装置。

【請求項 4】

プログラムガイドの表示操作に対応して、前記プログラムガイドを表示させる表示手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の記録再生装置。

【請求項 5】

目的のプログラムの記録及び記録されるプログラムの再生順序を予約する予約手段と、

前記予約手段により予約された再生順序に基づき、記録されたプログラムを再生させる再生手段と、

を備えたことを特徴とする記録再生装置。

【請求項 6】

前記予約手段により予約された再生順序、及び実行された再生の履歴のうち少なくとも一方の情報に基づき、記録されたプログラムの再生順序を自動制御する再生順序制御手段を備えたことを特徴とする請求項 5 に記載の記録再生装置。

【請求項 7】

モード選択操作に対応して手動再生モード又は自動再生モードを選択する再生モード選択手段と、

再生開始操作に対応して再生開始を指示する再生開始指示手段と、

再生開始時刻の入力操作に対応して再生開始時刻を設定する設定手段と、

前記選択手段により手動再生モードが選択され、前記再生開始指示手段から再生開始が指示されると、前記予約手段により予約された再生順序に基づき、記録されたプログラムの再生を開始させ、前記選択手段により自動再生モードが選択され、前記設定手段により設定された再生開始時刻になると、前記予約手段により予約された再生順序に基づき、記録されたプログラムの再生を開始させる手動自動再生制御手段と、

を備えたことを特徴とする請求項 5 に記載の記録再生装置。

【請求項 8】

前記予約手段により予約された再生順序、及び実行された再生の履歴のうち少なくとも一方の情報に基づき、記録された複数のプログラムの再生順序を自動制御する再生順序制御手段と、

モード選択操作に対応して手動再生モード又は自動再生モードを選択する再生

モード選択手段と、

再生開始操作に対応して再生開始を指示する再生開始指示手段と、

再生開始時刻の入力操作に対応して再生開始時刻を設定する設定手段と、

前記選択手段により手動再生モードが選択され、前記再生開始指示手段から再生開始が指示されると、前記予約手段により予約された再生順序に基づき、記録された複数のプログラムの再生を開始させ、前記選択手段により自動再生モードが選択され、前記設定手段により設定された再生開始時刻になると、前記予約手段により予約された再生順序に基づき、記録された複数のプログラムの再生を開始させる手動自動再生制御手段と、

を備えたことを特徴とする請求項 5 に記載の記録再生装置。

【請求項 9】

所望の複数のプログラムを記録媒体へ記録し、この複数の記録されるプログラムの再生順序を予め予約する予約手段と、

前記予約手段により予約された再生順序に基づくユーザオリジナルのプログラムガイド、及び現在の放送に対応した放送対応のプログラムガイドを関連付けた関連付けプログラムガイドを生成する生成手段と、

前記関連付けプログラムガイドに基づいた順序で、記録された複数のプログラムを再生させる再生手段と、

を備えたことを特徴とする記録再生装置。

【請求項 10】

プログラムガイドの表示操作に対応して、前記関連付けプログラムガイドを表示させる表示手段を備えたことを特徴とする請求項 9 に記載の記録再生装置。

【請求項 11】

記録される複数のプログラムの再生順序を予め予約する第 1 の工程と、

前記第 1 の工程により予約された再生順序に基づきユーザオリジナルのプログラムガイドを生成する第 2 の工程と、

前記第 2 の工程により生成された前記プログラムガイドに基づいた順序で記録された複数のプログラムを再生させる第 3 の工程と、

を備えたことを特徴とする記録再生方法。

【請求項 1 2】

前記第 1 の工程により予約された再生順序、及び実行された再生の履歴のうち少なくとも一方の情報に基づき、記録された複数のプログラムの再生順序を制御する工程を備えたことを特徴とする請求項 1 1 に記載の記録再生方法。

【請求項 1 3】

手動再生モードが選択され再生開始が指示されると、前記第 2 の工程により生成された前記プログラムガイドに基づいた順序で、記録された複数のプログラムの再生を開始させる工程と、

自動再生モードが選択され予め設定された再生開始時刻になると、前記第 2 の工程により生成された前記プログラムガイドに基づいた順序で、記録された複数のプログラムの再生を開始させる工程と、

を備えたことを特徴とする請求項 1 1 に記載の記録再生方法。

【請求項 1 4】

プログラムガイドの表示操作に対応して、前記プログラムガイドを表示させる工程を備えたことを特徴とする請求項 1 1 に記載の記録再生方法。

【請求項 1 5】

目的のプログラムの記録及び記録されるプログラムの再生順序を予約する第 1 の工程と、

前記第 1 の工程により予約された再生順序に基づき、記録されたプログラムを再生させる第 2 の工程と、

を備えたことを特徴とする記録再生方法。

【請求項 1 6】

前記第 1 の工程により予約された再生順序、及び実行された再生の履歴のうち少なくとも一方の情報に基づき、記録されたプログラムの再生順序を制御する工程を備えたことを特徴とする請求項 1 5 に記載の記録再生方法。

【請求項 1 7】

手動再生モードが選択され再生開始が指示されると、前記第 1 の工程により予約された再生順序に基づき、記録されたプログラムの再生を開始させる工程と、

自動再生モードが選択され予め設定された再生開始時刻になると、前記第 1 の

工程により予約された再生順序に基づき、記録されたプログラムの再生を開始させる工程と、

を備えたことを特徴とする請求項 1 5 に記載の記録再生方法。

【請求項 1 8】

前記第 1 の工程により予約された再生順序、及び実行された再生の履歴のうち少なくとも一方の情報に基づき、記録されたプログラムの再生順序を制御する工程と、

手動再生モードが選択され再生開始が指示されると、前記第 1 の工程により予約された再生順序に基づき、記録されたプログラムの再生を開始させる工程と、

自動再生モードが選択され予め設定された再生開始時刻になると、前記第 1 の工程により予約された再生順序に基づき、記録されたプログラムの再生を開始させる工程と、

を備えたことを特徴とする請求項 1 5 に記載の記録再生方法。

【請求項 1 9】

記録される複数のプログラムの再生順序を予め予約する第 1 の工程と、

前記第 1 の工程により予約された再生順序に基づくユーザオリジナルのプログラムガイド、及び現在の放送に対応した放送対応のプログラムガイドを関連付けた関連付けプログラムガイドを生成する第 2 の工程と、

前記第 2 の工程により生成された前記関連付けプログラムガイドに基づいた順序で、記録された複数のプログラムを再生させる第 3 の工程と、

を備えたことを特徴とする記録再生方法。

【請求項 2 0】

プログラムガイドの表示操作に対応して、前記関連付けプログラムガイドを表示させる工程を備えたことを特徴とする請求項 1 9 に記載の記録再生方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、目的のプログラム（番組）を記録するとともに、記録されたプログラムを再生する記録再生装置及び記録再生方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、地上波放送、B S 放送、及びC S 放送等により、多数の番組の視聴が可能になっている。今後、チャンネル数は、放送のデジタル化によりますます増加することが予想される。これにより利用者は、より多様化したチャンネルから自分の好みにあった番組を選択する環境が整いつつある。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記した放送により提供される番組は、ユーザにとって必ずしもタイムリーなものでないという問題があった。つまり、ユーザが見たいときに、見たい番組が放送されている訳ではなく、見たい番組は予め録画しておき、見たいタイミングで再生するしかなかった。ところが、膨大な数の番組を録画した場合には、録画した番組をどのような順序で見ればよいか、容易に判断できなくなってしまうことがあった。

【 0 0 0 4 】

特開平 1 1 - 3 4 5 4 4 6 号公報には、複雑な設定を行なうことなく、自動的に利用者の嗜好を学習し、好みにあった番組を自動的に録画予約する自動録画方法が開示されている。しかし、上記した問題の解決には至っていない。

【 0 0 0 5 】

また、特開平 2 0 0 0 - 4 8 0 2 9 号公報には、ユーザにとってタイムリーとなる番組を容易に検索して記録又は再生することができる記録再生装置が開示されている。しかし、この公知例に開示された技術では、上記した問題の解決には至っていない。

【 0 0 0 6 】

この発明の目的は、上記したような事情に鑑み成されたものであって、記録されたプログラム（番組）をタイムリーに再生することが可能な記録再生装置及び記録再生方法を提供することにある。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決し目的を達成するために、この発明の記録再生装置及び記録再生方法は、以下のように構成されている。

【 0 0 0 8 】

(1) この発明の記録再生装置は、所望の複数のプログラムを記録媒体へ記録し、この複数の記録されるプログラムの再生順序を予め予約する予約手段と、前記予約手段により予約された再生順序に基づきユーザオリジナルのプログラムガイドを生成する生成手段と、前記プログラムガイドに基づいた順序で、記録された複数のプログラムを再生させる再生手段とを備えている。

【 0 0 0 9 】

(2) この発明の記録再生方法は、記録される複数のプログラムの再生順序を予め予約する第1の工程と、前記第1の工程により予約された再生順序に基づきユーザオリジナルのプログラムガイドを生成する第2の工程と、前記第2の工程により生成された前記プログラムガイドに基づいた順序で記録された複数のプログラムを再生させる第3の工程とを備えている。

【 0 0 1 0 】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【 0 0 1 1 】

図1は、この発明の記録再生装置の一例を示すブロック図である。この記録再生装置は、番組放送を受信し、受信した番組放送を記録したり、受信した番組放送を再生したりすることができる。図1に示すように、記録再生装置は、入力部1、チューナー2、デコーダ3、メモリ4、出力制御部5、HDD（ハードディスクドライブ）6、CPU（セントラルプロセッシングユニット）7、グラフィック処理部8、出力部9、表示部10、及び操作部11を備えている。なお、チューナー2、HDD6、及び表示部10は、必ずしも必須の構成要件ではなく、この発明の記録再生装置に対して外付けであってもよい。この場合、この発明の記録再生装置は、チューナー2との接続端子、及びHDD6との接続端子を備える。

【 0 0 1 2 】

入力部 1 には、アンテナで受信された放送信号が入力される。この放送信号には、各番組（プログラム）に相当する映像信号及び音声信号が含まれており、さらにこれら映像信号及び音声信号には番組情報が重畳されている。この番組情報には、チャンネル番号及びチャンネル名などを示すチャンネル識別情報、番組タイトルを示す番組識別情報、番組放送の日を示す番組放送日情報、番組放送開始時刻を示す番組放送開始時刻情報、番組放送終了時刻を示す番組放送終了時刻情報、番組放送の放送時間の長さを示すレングス情報などが含まれている。

【 0 0 1 3 】

HDD 6 には、入力部 1 から入力された放送信号から、チューナー 2 を介して抽出される目的の番組データが記録される。デコーダ 3 は、入力部 1 から入力された番組放送をデコードする。出力制御部 5 は、デコーダ 3 によりデコードされた番組放送の出力を制御し、出力部 9 を介して表示部 1 0 に番組放送を表示させる。メモリ 4 は、例えば、番組予約情報を記憶したりする。CPU 7 は、記録再生装置全体を制御する。グラフィック処理部 8 は、上記した番組情報に基づき、放送対応の EPG（電子プログラムガイド）を生成する。グラフィック処理部 8 で生成された EPG は、出力制御部 5 の出力制御により、出力部 9 を介して表示部 1 0 に表示される。操作部 1 1 は、例えばリモートコントローラであり、この操作部 1 1 には各種入力操作を受け付けるための様々なキーが設けられている。例えば、録画予約キー 1 1 a、再生予約キー 1 1 b、再生モード選択キー 1 1 c、再生開始時刻設定キー 1 1 d、再生開始キー 1 1 e、EPG 表示キー 1 1 f などが設けられている。

【 0 0 1 4 】

続いて、図 2 ～図 4 を参照して、番組予約処理について説明する。図 2 は、番組予約処理を示すフローチャートである。図 3 及び図 4 は、番組予約画面の一例を示す図である。操作部 1 1 の録画予約キー 1 1 a を介して受け付けられる録画予約操作に対応して、表示部 1 0 には番組予約画面が表示され、目的の番組（プログラム）の録画が予約される（ST 1 1）。例えば、ここで複数の番組の録画が予約されたとする。再生予約しない場合には（ST 1 2、NO）、番組予約処理は終了する。再生予約する場合には（ST 1 2、YES）、操作部 1 1 の再生

予約キー 1 1 b で受け付けられる再生順序設定操作に対応して、録画予約された番組、つまりこの後で記録される番組の再生順序が設定される (S T 1 3)。このとき番組予約画面には、「自動再生する (自動再生モード)」、又は「自動再生しない (手動再生モード)」を選択する項目が表示されている。操作部 1 1 の再生モード選択キー (カーソルキー) 1 1 c を介して、図 3 に示すように「自動再生しない」が選択されると (S T 1 4、N O)、番組予約処理は終了する。操作部 1 1 の再生モード選択キーを介して、図 4 に示すように「自動再生する」が選択されると (S T 1 4、Y E S)、再生開始時刻の設定が要求される。この後、操作部 1 1 の再生開始時刻設定キー (テンキー等) 1 1 d で受け付けられる再生開始時刻に対応して、再生開始時刻が設定される (S T 1 5)。以上説明した予約処理で生成される番組予約情報はメモリ 4 に記憶される。

【 0 0 1 5 】

続いて、図 5 を参照して、予約録画処理について説明する。C P U 7 が、メモリ 4 に記憶された番組予約情報に基づき、目的の番組データを H D D 6 (記録媒体) に記録させる。つまり、C P U 7 は、予約録画時刻になると (S T 2 1、Y E S)、入力部 1 から提供される放送信号からチューナー 2 を介して目的の番組データを抽出し (S T 2 2)、この番組データを H D D 6 に記録させる (S T 2 3)。このとき、同時に、録画される番組に対応した番組情報も抽出して H D D 6 に記録させる (S T 2 3)。

【 0 0 1 6 】

続いて、図 6 を参照して、記録された番組の再生処理について説明する。図 3 に示すように、「自動再生しない」が選択されている場合には (S T 3 1、N O)、操作部 1 1 の再生開始キー 1 1 e で受け付けられる再生開始操作に対応して (S T 3 2)、C P U 7 の再生制御により、設定された再生順序 (後述するユーザオリジナルの E P G) に基づく再生が開始される。つまり、メモリ 4 に保存された番組予約情報の中の再生順序に基づき H D D 6 に記録された番組が再生される (S T 3 4)。この再生中に、操作部 1 1 の E P G 表示キー 1 1 f で受け付けられる表示操作に対応して (S T 3 5)、図 7 に示すような E P G が生成され表示される (S T 3 6)。また、図 4 に示すように、「自動再生する」が選択され

ている場合には（ＳＴ３１、ＹＥＳ）、ＣＰＵ７の再生制御により、設定された再生開始時刻になると（ＳＴ３３、ＹＥＳ）、設定された再生順序（後述するユーザオリジナルのＥＰＧ）に基づく再生が開始される。つまり、メモリ４に保存された番組予約情報の中の再生開始時刻及び再生順序に基づきＨＤＤ６に記録された番組が再生される（ＳＴ３４）。この再生中に、操作部１１のＥＰＧ表示キー１１ｆで受け付けられる表示操作に対応して（ＳＴ３５）、図７に示すようなＥＰＧが生成され表示される（ＳＴ３６）。

【００１７】

続いて、図７に示すＥＰＧについて説明する。図７に示すＥＰＧは、放送対応のＥＰＧとユーザオリジナルのＥＰＧが関連付けられたＥＰＧ（関連付けプログラムガイド）である。放送対応のＥＰＧとは、現在放送されている番組に対応したＥＰＧである。言い換えると、現在受信されている番組情報に基づき生成されたＥＰＧである。これに対して、ユーザオリジナルのＥＰＧとは、ＳＴ２３で記録された番組情報、ＳＴ１３で設定された再生順序、及びＳＴ１５で設定された再生時刻に基づき生成されたＥＰＧである。これら両者を関連付けて表示することにより、現在放送されている実際の番組のプログラムと、ユーザが編集した番組のプログラムとの比較が容易になり、目的の番組の見落としを防止することもできる。また、両者を関連付けて表示することにより、マイブロードキャスティングステーションの構築をイメージさせることもできる。

【００１８】

上記説明では、再生順序及び再生開始時刻等をユーザが設定するケースについて説明したが、これら再生順序及び再生開始時刻等を自動的に編成するようにしてもよい。例えば、予約録画及び自動再生等を制御するＣＰＵ７が、ユーザによる録画、ユーザによる再生順序の設定、ユーザによる再生開始時刻の設定、及び実際の再生等の各種履歴情報を収集する。収集された履歴情報はメモリ４に格納される。ＣＰＵ７は、この履歴情報からユーザの嗜好や習慣を学習し、再生順序及び再生開始時刻等を自動的に再編成する。例えば、履歴情報に基づき、番組ジャンル毎に録画視聴回数をポイントで示し、どの番組ジャンルの録画視聴頻度が高いかを判断し、録画視聴頻度の高いものを優先的に再生するように再生順序に

編成する。

【 0 0 1 9 】

ここで、図 8 を参照して、自動再編成について説明する。上記したように、C P U 7 により履歴情報が収集されている状態において、録画が予約されると (S T 4 1) 、自動再編成の要望が問い合わせられる (S T 4 2) 。自動再編成を希望しない場合には (S T 4 2 、 N O) 、 S T 1 3 ～ S T 1 5 で示した手動再編成に移行する (S T 4 7) 。自動再編成を希望する場合には (S T 4 2 、 Y E S) 、履歴情報に基づき録画予約された番組の再生順序が決定され (S T 4 3) 、さらには履歴情報に基づき再生開始時刻も決定される (S T 4 4) 。この時点で、図 3 及び図 4 に示すような番組予約画面が表示される。この画面により、再生の内容を確認し、設定を変更しない場合には (S T 4 5 、 Y E S) 、確認操作に伴い予約が終了する。設定を変更する場合には (S T 4 5 、 N O) 、 S T 1 3 ～ S T 1 5 で示した手動再編成に移行する (S T 4 7) 。

【 0 0 2 0 】

上記した自動再編成により、録画予約のときの再生予約を一部省略することができたり (自動再編成の設定を変更する場合) 、全部を省略することができたりする (自動再編成の設定を変更しない場合) 。つまり、ユーザにとって極めて操作性に優れた自動再生環境が提供できる。

【 0 0 2 1 】

なお、本願発明は、上記実施形態に限定されるものではなく、実施段階ではその要旨を逸脱しない範囲で種々に変形することが可能である。また、各実施形態は可能な限り適宜組み合わせて実施してもよく、その場合組み合わせた効果が得られる。更に、上記実施形態には種々の段階の発明が含まれており、開示される複数の構成要件における適当な組み合わせにより種々の発明が抽出され得る。例えば、実施形態に示される全構成要件からいくつかの構成要件が削除されても、発明が解決しようとする課題の欄で述べた課題が解決でき、発明の効果の欄で述べられている効果が得られる場合には、この構成要件が削除された構成が発明として抽出され得る。

【 0 0 2 2 】

【発明の効果】

この発明によれば、記録されたプログラムをタイムリーに再生することが可能な記録再生装置及び記録再生方法を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の記録再生装置の一例を示すブロック図である。

【図 2】

番組予約処理を示すフローチャートである。

【図 3】

「自動再生しない」が選択された状態の番組予約画面の一例を示す図である。

【図 4】

「自動再生する」が選択された状態の番組予約画面の一例を示す図である。

【図 5】

予約録画処理を示すフローチャートである。

【図 6】

再生処理を示すフローチャートである。

【図 7】

ユーザオリジナルの E P G 及び現在の放送対応の E P G を並列表示した E P G の一例を示す図である。

【図 8】

自動再編成を伴う予約処理を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 … 入力部
- 2 … チューナー
- 3 … デコーダ
- 4 … メモリ
- 5 … 出力制御部
- 6 … HDD（ハードディスクドライブ）
- 6
- 7 … CPU（セントラルプロセッシングユニット）

8 … グラフィック処理部

9 … 出力部

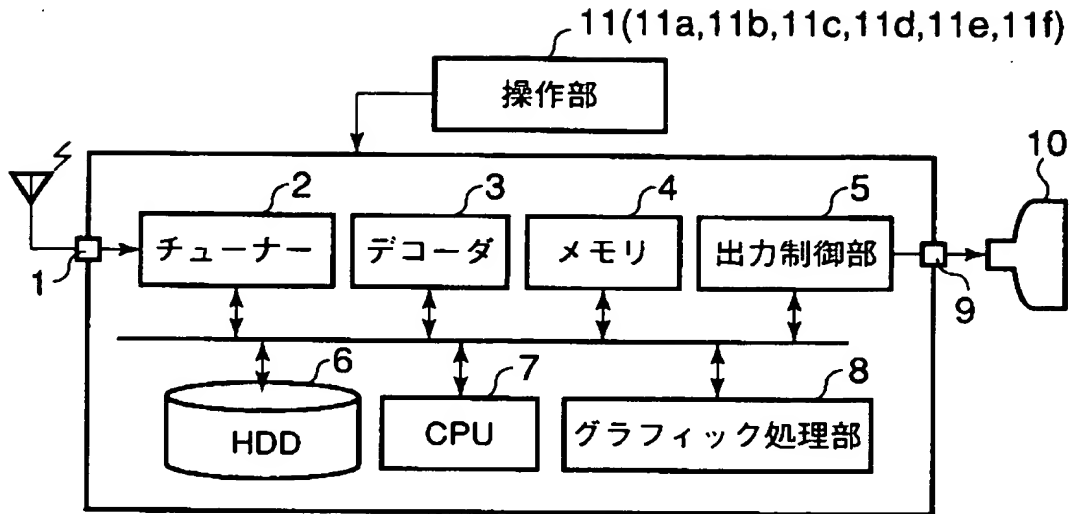
1 0 … 表示部

1 1 … 操作部

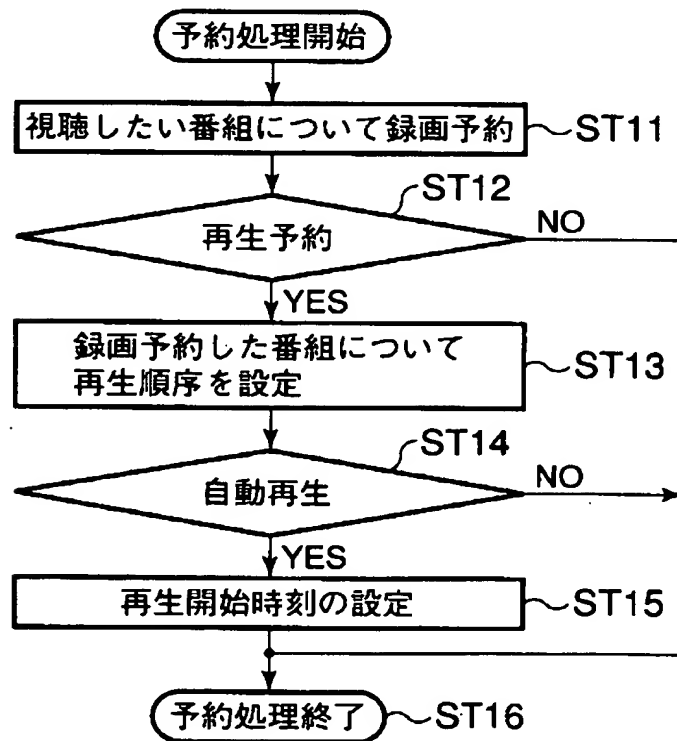
【書類名】

図面

【図 1】



【図 2】

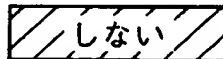


【図 3】

再生順序	番組名	番組ジャンル	録画時間
1	ドラマ3	ドラマ	17:00-18:00
2	ドラマ1	ドラマ	8:30-9:00
3	ドラマ2	ドラマ	13:00-13:30
4	朝のニュース	ニュース	7:00-8:00
5	ナイター中継	野球	19:00-21:00

自動再生

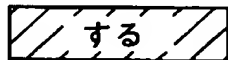
する



【図 4】

再生順序	番組名	番組ジャンル	録画時間
1	Jリーグ	サッカー	16:00-18:00
2	中央競馬	競馬・公営競技	15:00-16:00
3	TVショッピング	ショッピング・通販	10:00-11:00
4	スポーツニュース	スポーツニュース	18:00-18:54
5	洋画劇場	洋画	21:00-22:54

自動再生

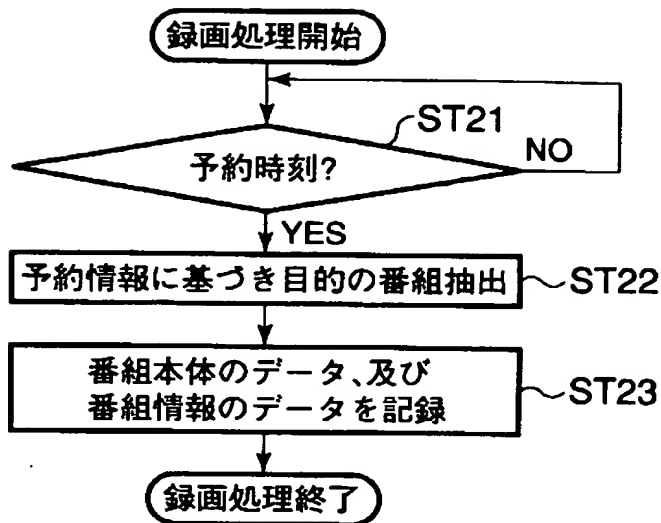


しない

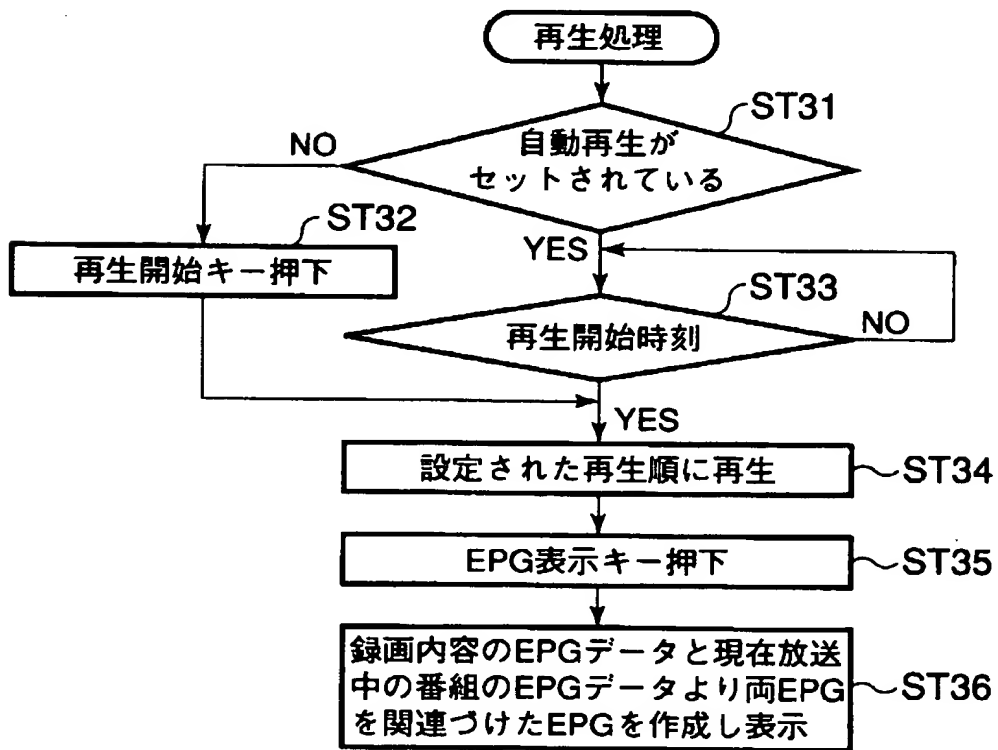
再生開始時刻

23:00

【図 5】



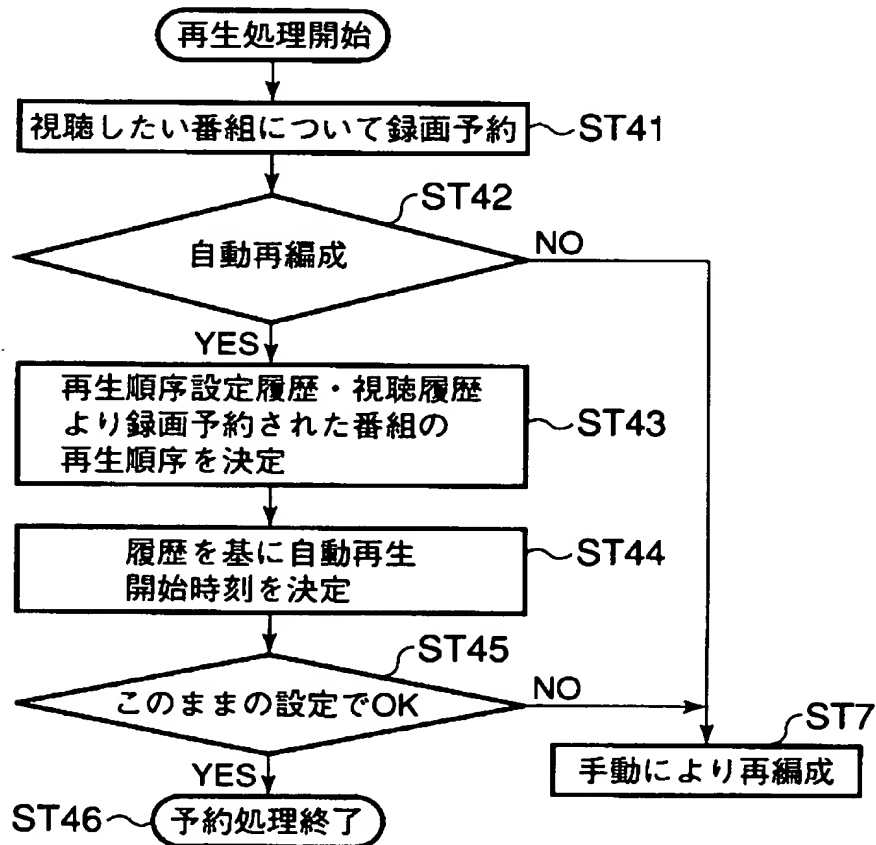
【図 6】



【図 7】

1 (日)	BS-1			BS-2			HDD
	141	142	143	151	152	153	
PM 10	00 音楽A			00 バラエティA			07 ドラマ3
PM 11	00 夜の ニュース	00 ドラマ142	00 スポーツ ニュース				07 ドラマ1
							37 ドラマ2

【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】記録されたプログラム（番組）をタイムリーに再生することが可能な記録再生装置を提供すること。

【解決手段】所望の複数のプログラムを記録媒体へ記録し、この複数の記録されるプログラムの再生順序を予め予約する予約手段（4、6、7、11a、11b）と、前記予約手段により予約された再生順序に基づきユーザオリジナルのプログラムガイドを生成する生成手段（4、7、8）と、前記プログラムガイドに基づいた順序で、記録された複数のプログラムを再生させる再生手段（5、7、10）とを備えている。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003078]

1. 変更年月日	1990年 8月22日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県川崎市幸区堀川町72番地
氏 名	株式会社東芝